

## 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 岡本硝子株式会社

上場取引所 東

コード番号 7746 URL https://ogc-jp.com/

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 風間 卓

TEL 04-7137-3111

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,023	2.7	34		18		21	
2024年3月期第1四半期	996	20.9	53		25		23	

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 15百万円 ( %) 2024年3月期第1四半期 16百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	0.90	
2024年3月期第1四半期	1.03	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,028		1,677		20.9	
2024年3月期	7,987		1,693		21.2	

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 1,677百万円 2024年3月期 1,693百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,260	11.0	40		10		2		0.09
通期	5,310	15.9	200	223.2	160	9.4	120	17.7	5.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	23,305,543 株	2024年3月期	23,305,543 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	29,870 株	2024年3月期	29,870 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	23,275,673 株	2024年3月期1Q	23,275,674 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国を中心に高インフレに伴う高い金利水準が継続しております。米国では、堅調な個人消費に支えられ景気は緩やかに回復し、ヨーロッパ地域では、インフレ率の低下を背景に景気は持ち直しに向かい、中国では、不動産市況の低迷が続く中で個人消費が振るわなかったことにより景気は減速しています。日本では、設備投資に持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかに持ち直しています。

当第1四半期連結累計期間において、プロジェクター需要は、中国、欧米など世界全体として低調でしたが、当社グループのプロジェクター用フライアイレンズは、販売数量が減少する中で販売商品構成における高単価品の増加などにより売上高は、ほぼ横ばいとなり、反射鏡は、シェアの拡大により販売数量はほぼ横ばいで、売上高は増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,023百万円(前第1四半期連結累計期間比2.7%増)、経常損失18百万円(前第1四半期連結累計期間の経常損失は25百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失21百万円(前第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失は23百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①光学事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は434百万円と前年同期と比べ14百万円(3.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は63百万円と前年と比べ28百万円(79.1%)の増益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前年同期比0.4%減少し、売上高は5.8%増加いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前年同期比で24.7%減少し、売上高は0.4%増加いたしました。

#### ②照明事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は122百万円と前年同期と比べ14百万円(13.3%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は2百万円と前年と比べ2百万円(前第1四半期連結累計期間のセグメント損失は4百万円)の増益となりました。一般照明用の売上高が増加いたしました。

#### ③機能性薄膜・ガラス事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は321百万円と前年同期と比べ4百万円(1.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は9百万円と前年と比べ7百万円(43.6%)の減益となりました。ガラス偏光子の売上高が増加し、ガラス容器への加飾蒸着の売上高が減少しました。

#### ④その他

当第1四半期連結累計期間の売上高は144百万円と前年同期と比べ6百万円(4.3%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は28百万円と前年と比べ12百万円(82.4%)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて40百万円増加し、8,028百万円となりました。

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ138百万円の減少となりました。この主な要因は、商品及び製品が128百万円増加し、受取手形及び売掛金が299百万円減少したなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ178百万円の増加となりました。新潟岡本硝子株式会社での反射鏡生産用ガラス熔融炉の更新投資などにより有形固定資産が182百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ40百万円の増加となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ391百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金が225百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が178百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ334百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が332百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ56百万円の増加となりました。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ15百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が21百万円

減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,676,133	1,614,823
受取手形及び売掛金	1,039,659	740,382
電子記録債権	211,385	275,537
商品及び製品	350,080	478,894
仕掛品	629,965	606,787
原材料及び貯蔵品	161,445	136,997
その他	54,857	131,798
流動資産合計	4,123,528	3,985,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,120,977	1,096,737
機械装置及び運搬具（純額）	976,661	969,488
土地	764,514	764,514
リース資産（純額）	98,329	91,616
建設仮勘定	620,603	839,329
その他（純額）	37,451	38,947
有形固定資産合計	3,618,537	3,800,634
無形固定資産	24,411	20,349
投資その他の資産		
投資有価証券	34,914	35,061
繰延税金資産	39,207	40,098
その他	147,286	146,989
投資その他の資産合計	221,408	222,149
固定資産合計	3,864,356	4,043,133
資産合計	7,987,884	8,028,355
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	314,756	287,897
短期借入金	1,039,240	1,264,541
1年内返済予定の長期借入金	741,831	920,496
リース債務	22,667	22,145
未払法人税等	31,497	12,198
賞与引当金	54,051	87,692
未払金	218,406	198,140
その他	87,498	107,900
流動負債合計	2,509,950	2,901,013
固定負債		
長期借入金	3,407,918	3,075,650
リース債務	62,977	57,533
繰延税金負債	40,375	40,342
退職給付に係る負債	194,071	195,412
資産除去債務	78,507	80,227
その他	500	500
固定負債合計	3,784,349	3,449,665
負債合計	6,294,299	6,350,678
純資産の部		

株主資本		
資本金	2,495,740	2,495,740
資本剰余金	734,225	734,225
利益剰余金	△1,669,910	△1,690,972
自己株式	△429	△429
株主資本合計	1,559,625	1,538,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,019	2,434
為替換算調整勘定	70,335	77,029
退職給付に係る調整累計額	60,552	59,598
その他の包括利益累計額合計	133,907	139,062
非支配株主持分	52	50
純資産合計	1,693,584	1,677,676
負債純資産合計	7,987,884	8,028,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	996,221	1,023,153
売上原価	705,391	690,545
売上総利益	290,830	332,608
販売費及び一般管理費		
役員報酬	23,430	25,740
給料及び手当	108,889	114,738
退職給付費用	3,583	2,274
減価償却費	23,206	18,525
旅費及び交通費	6,845	8,879
支払手数料	28,347	31,541
運賃	10,918	9,115
賞与引当金繰入額	9,804	14,011
研究開発費	31,269	31,446
その他	97,897	111,282
販売費及び一般管理費合計	344,192	367,558
営業損失(△)	△53,362	△34,949
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	760	847
為替差益	34,136	29,543
助成金収入	4,057	108
その他	5,600	1,623
営業外収益合計	44,567	32,136
営業外費用		
支払利息	14,269	14,238
その他	2,345	1,634
営業外費用合計	16,614	15,872
経常損失(△)	△25,409	△18,685
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,089
特別損失合計	—	1,089
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,409	△19,775
法人税等	△1,488	1,289
四半期純損失(△)	△23,920	△21,064
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,919	△21,062



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△23,920	△21,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	633	△584
為替換算調整勘定	6,501	6,693
退職給付に係る調整額	118	△953
その他の包括利益合計	7,254	5,155
四半期包括利益	△16,666	△15,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,664	△15,906
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 配当に関する事項  
該当事項はありません。
2. 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 配当に関する事項  
該当事項はありません。
2. 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

また、一部の連結子会社の税金費用は税引前四半期純利益に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じることにより算定しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過期的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過期的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分)

当社は、2024年5月31日の取締役会において、2024年6月29日開催の第78期定時株主総会に、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関する議案を付議することを決議し、同株主総会において承認可決されました。

(1) 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

現在生じている繰越利益剰余金の欠損を填補し、今後の柔軟かつ機動的な資本政策や適宜・適切な株主還元策を講ずることを目的としております。

(2) 資本金の額の減少の要領

① 減少する資本金の額

2024年3月31日現在の資本金の額2,495,740千円のうち1,495,740千円を減少し、資本金の額を1,000,000千円といたします。

② 資本金の額の減少の方法

会社法第447条第1項の規定に基づき、発行済株式総数を変更することなく、資本金の額のみを減少し、減少額1,495,740千円をその他資本剰余金に振り替えます。

(3) 資本準備金の額の減少の要領

① 減少する資本準備金の額

2024年3月31日現在の資本準備金の額734,225千円を全額減少させ0円とします。

② 資本準備金の額の減少の方法

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の減少額734,225千円をその他資本剰余金に振り替えます。

(4) 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記の資本金の額の減少及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、以下のとおり剰余金の処分を行います。

① 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金2,229,965千円のうち1,870,644千円を繰越利益剰余金へ振り替えます。その結果、その他資本剰余金は359,320千円に減少します。

② 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金は1,870,644千円増加し、これにより2024年3月31日現在の欠損額1,870,644千円は全額填補され、繰越利益剰余金は0円に増加します。

(5) 日程

①取締役会決議日	2024年5月31日
②株主総会決議日	2024年6月29日
③債権者異議申述最終期日	2024年8月5日
④効力発生日	2024年9月6日(予定)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	419,687	108,475	317,332	845,495	150,725	996,221
その他の収益						
外部顧客への売上高	419,687	108,475	317,332	845,495	150,725	996,221
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	419,687	108,475	317,332	845,495	150,725	996,221
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	35,687	△4,508	16,413	47,593	15,457	63,051

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	47,593
「その他」の区分の利益	15,457
全社費用(注)	△116,413
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△53,362

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	434,558	122,864	321,469	878,893	144,260	1,023,153
その他の収益						
外部顧客への売上高	434,558	122,864	321,469	878,893	144,260	1,023,153
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	434,558	122,864	321,469	878,893	144,260	1,023,153
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	63,921	△2,078	9,265	71,108	28,197	99,305

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	71,108
「その他」の区分の利益	28,197
全社費用(注)	△134,255
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△34,949

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	65,370千円	64,915千円
のれんの償却額	2,015千円	2,015千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。